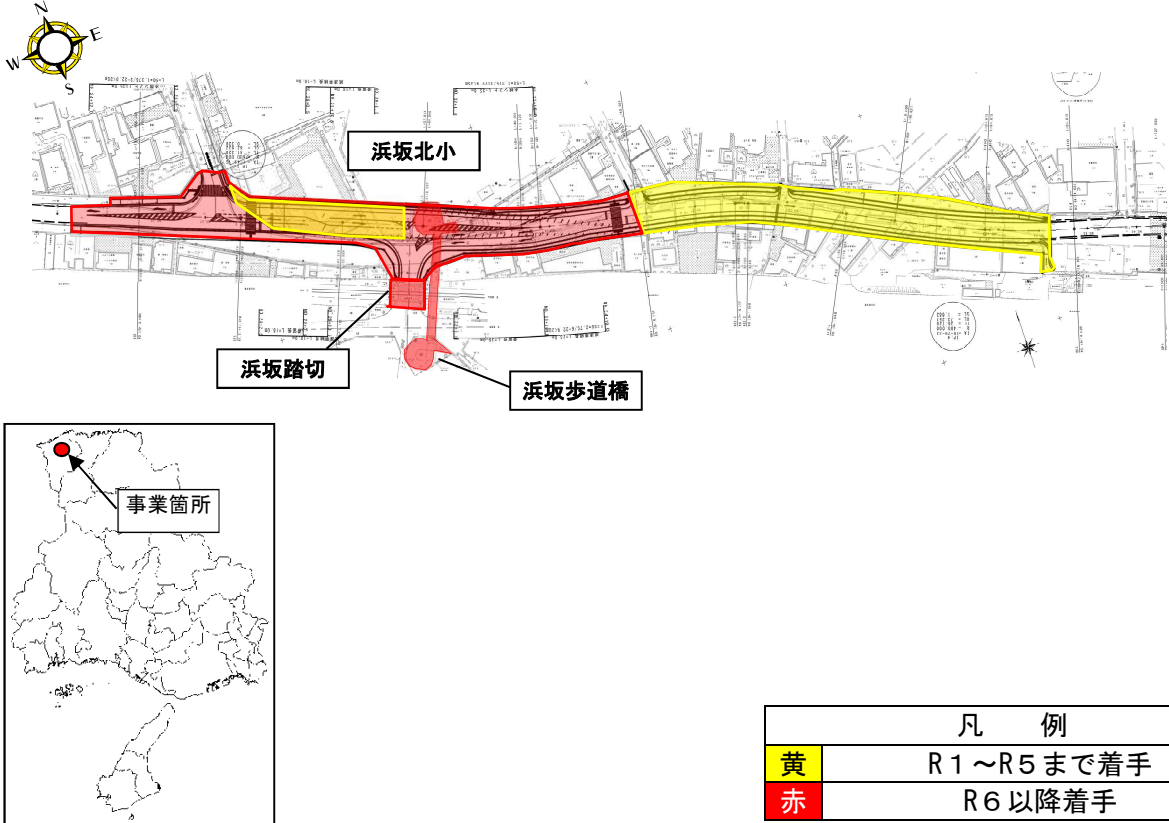


## 令和5年度 投資事業評価調書（継続：再評価〔第1回〕）

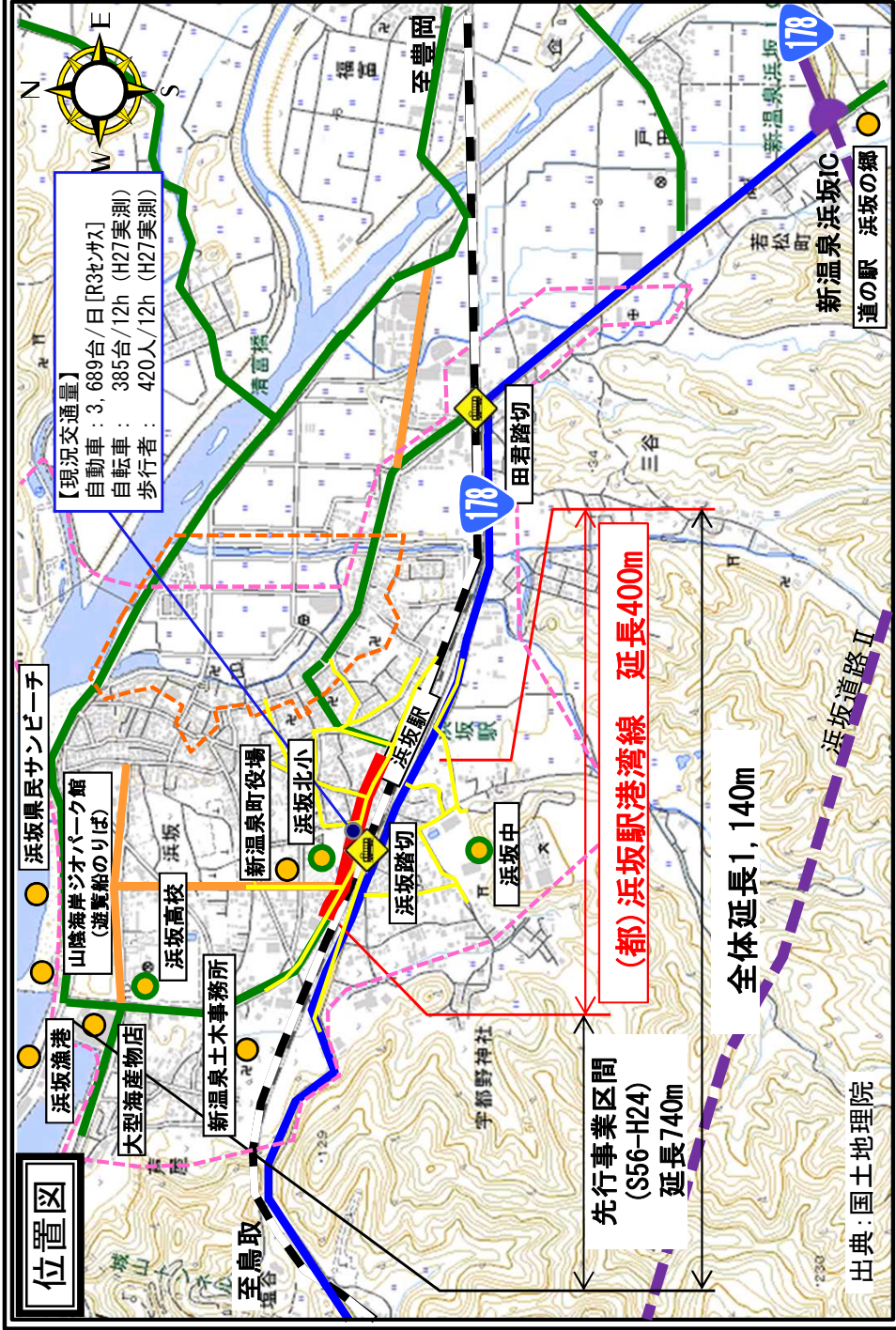
部課室名	土木部道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路街路課長 志茂 大輔 (街路班長 山内 有紀)	内線	4362 (4474)
事業種目	街路事業	評価年度等		現計画	前回評価時点
事業名	都市計画道路 浜坂駅港湾線 (駅前工区)	新規評価年度 平成30(2018)年度 事業採択年度 令和元(2019)年度 着工年度 令和元(2019)年度	総事業費	13億円	9億円
			内地地補償費	7.5億円	7.5億円
事業区間	美方郡新温泉町 浜坂地内		進捗率	77%	—
			用補進捗率	100%	—
			残事業費	3億円	—
			完成予定年度	令和8(2026)年度	令和5(2023)年度
事業の目的			事業内容 ( ) : 新規評価時点		
<ul style="list-style-type: none"> <li>本路線は国道178号から浜坂駅等の市街地中心部にアクセスする幹線道路であり、周辺の学校への通学路としても利用される。</li> <li>現道は、歩行空間が確保されておらず、危険な状態であるため、歩道の設置・拡幅により、通学生等の歩行者の安全な通行を確保する。</li> <li>浜坂踏切交差点は、踏切と近接しており、右左折車線が設置されていないため、踏切内に進入しようとする車両が、交差点内に一時停止する。このため、後続の直進車両が輻輳している。付加車線の設置、踏切との離隔の確保等の整備を行うことで、自動車の安全で円滑な通行を確保する。</li> </ul>			<p>【延長】 400m</p> <p>【道路規格】 第4種第2級</p> <p>【計画幅員】 2車線 車道6.0m 両側歩道3.0m 〔全幅15.0m〕</p> <p>【現況交通量】 自動車：3,689台/日 [R3センサ] (4,376台/日) 歩行者： 420人/12h [H27実測] 自転車： 385台/12h [H27実測]</p> <p>【負担割合】 国55%、県22.5%、市22.5%</p>		
事業を取り巻く 社会経済情勢等の 変化	<p>【新規評価時点からの事業計画・総事業費・工期の変更概要】</p> <p>①本路線はまちの顔となる駅前を通る路線であることから、景観形成上、重要な路線であることに加え、ジオパーク等の観光拠点へのアクセス道路となっている。また、災害時の緊急輸送道路と避難所を結ぶ道路であるため、無電柱化を推進し電線共同溝の整備を追加することにより、全体事業費を約2.5億円増額する。</p> <p>②本路線の整備に伴い、浜坂歩道橋の撤去が必要となる。歩道橋の機能復旧のために、浜坂踏切の拡幅を行うため、全体事業費を約1億円増額する。</p> <p>③上記①②の追加に伴い、事業期間を3年延伸する。</p> <p>④労務単価及び物価の上昇を受けた賃金等の変動に対処し、約0.5億円増額する。</p>				
進捗状況	<p>①令和5年度に用地買収が完了予定。</p> <p>②令和4年度に電線共同溝整備計画を策定し、電線共同溝の設計を開始した。令和8年度の完了に向けて令和5年度から電線共同溝の整備に着手している。</p>				
評価視点	評価結果の説明				
審査会意見及び対応方針 (H30年度新規評価)	【審査会意見】 新規着手妥当	【対応方針】 —			
(1)必要性	<p>①本路線は通学路に指定されているが、歩道がW=1.5mの狭小な区間と未設置区間が混在している。そのため、歩行者と自転車等が狭い路肩を通行し、車と輻輳するなど危険な状況であるため、歩道整備により安全性を確保することが急務である。</p> <p>②浜坂踏切交差点は、踏切と近接しており、右左折車線が設置されていないため、踏切内に進入しようとする車両が交差点内に一時停止する。このため、後続の直進車両が輻輳し、危険な状態である。</p>				
(2)有効性・効率性 (執行環境状況)	<p>①歩道の整備により、通学生等の歩行者の安全な通行が確保される。</p> <p>②地元、周辺の学校より早期整備の要望がある。</p>				
(3)環境適合性	①歩道を透水性舗装とし、地下水涵養を図る。				
(4)優先性	①本路線は、通学路に指定されているが、W=1.5mの狭小な歩道と歩道未設置区間が混在している。さらに積雪時は、除雪した雪が路肩及び歩道に堆雪し、歩行者は車道の通行を余儀なくされ、危険な状況となっているため、早急に事業を完成させる必要がある。				
再評価の結果	継続	左の理由	事業の必要性は、事業採択時と変わっておらず、通学生の安全通行等に資する路線であることから、継続して事業を実施する必要がある。		

事業進捗状況概要図（継続：再評価〔第1回〕）

事業名	街路事業	路線・河川名	都市計画道路 浜坂駅港湾線（駅前工区）						
									
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: yellow;">黄</td> <td>R1～R5まで着手</td> </tr> <tr> <td style="background-color: red;">赤</td> <td>R6以降着手</td> </tr> </tbody> </table>				凡 例		黄	R1～R5まで着手	赤	R6以降着手
凡 例									
黄	R1～R5まで着手								
赤	R6以降着手								
		事業進捗状況・予定	整備効果						
<p>全体 H26(2014) ～ R8(2026)</p>	<p><b>【総事業費＝13億円】</b> 延長：400m 用地補償件数 24 件、3,039 m<sup>2</sup></p>		—						
<p>事業採択から 再評価まで (実績) H26(2014) ～ R5(2023)</p>	<p><b>【事業費＝10億円】</b> ・事業進捗率：約 77%、用地進捗率：100% ・東側工区の道路改良工事及び電線共同溝の整備を推進</p>		—						
<p>今後 3 年間 (予定) R6(2024) ～ R8(2026)</p>	<p><b>【事業費＝3億円】</b> 令和 8 年度供用に向けて、事業を推進する。</p>		<p>①歩道設置により通学生等の歩行者の安全な通行を確保 ②踏切と近接する交差点において、車両等の安全で円滑な交通を確保</p>						

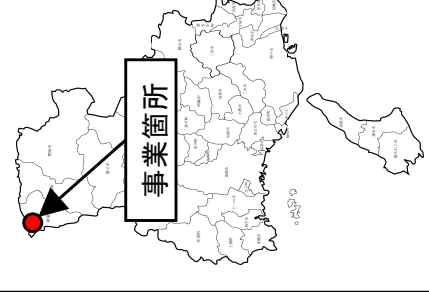
# 街路事業 都市計画道路 浜坂駅港湾線〔駅前工区〕

## 位置図



## 目的

- ①通学生(小・中・高)等歩行者と自転車の安全な通行空間の確保
- ②ジオパークなど観光拠点と交通結節点であるJR浜坂駅とのアクセス強化
- ③踏切と近接する交差点において、安全で円滑な交差点処理を図る。

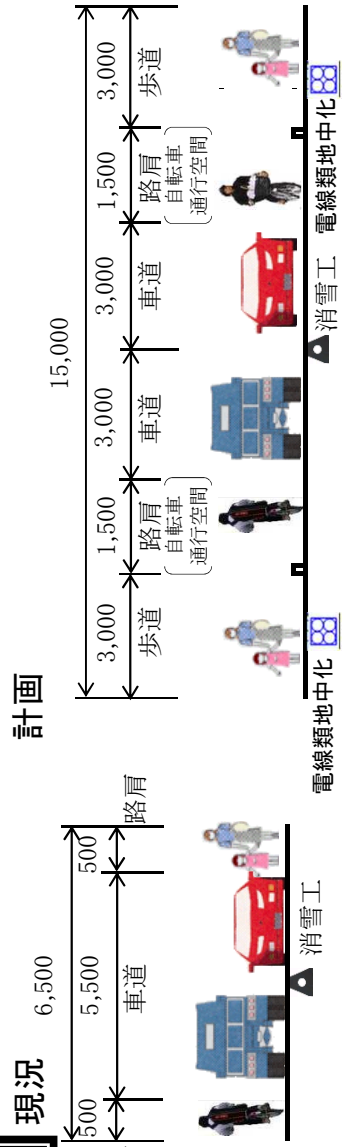


- 凡例
- : 事業区間
  - : 高速道路
  - : 国道
  - : 県道
  - : 通学路(事業箇所周辺)
  - : 公共施設、学校等
  - : 避難所
  - ◇: 踏切
  - : 味原川歴史的景観形成地区
  - : 福祉のまちづくり重点地区

## 事業概要

事業区間：美方郡新温泉町浜坂地内  
 総事業費：13億円  
 内用地補償費：7.5億円  
 事業期間：R1～R8  
 事業概要：歩道設置  
 延長：400m  
 計画幅員：6.0m(全幅15.0m)

## 横断面

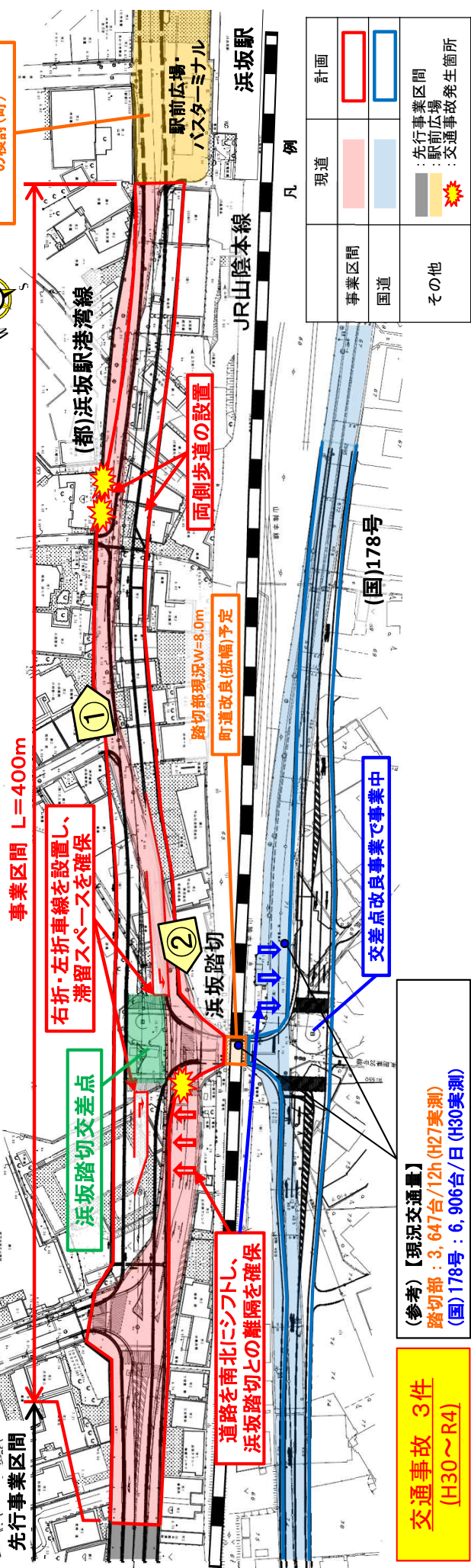




## 事業の必要性・優先性

- ① 通学路であるにも関わらず、歩道が未整備なため、通学生等の歩行者の安全性の確保が急務
- ② (国)178号交差点改良事業(H30年度着手)と一体となって、交差点と近接する浜坂踏切との離隔を確保し、安全で円滑な交差点処理を図る
- ③ 上記事業と踏切交差点部の改良時期をあわせるため、早期に事業を完成させる必要がある

## 平面図



## 現況写真

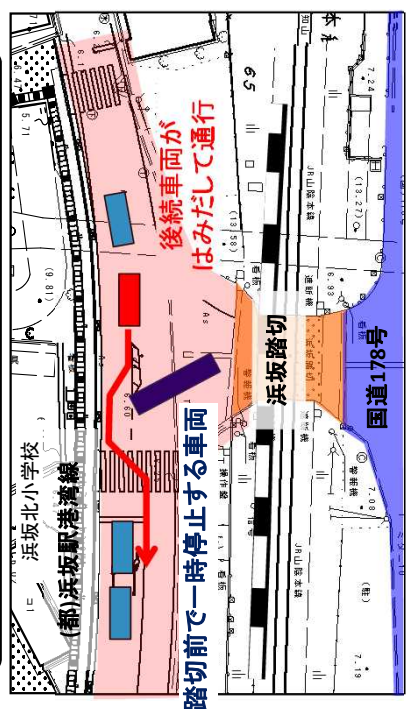
### ①歩行者の利用状況



### ②輻輳する交差点の状況



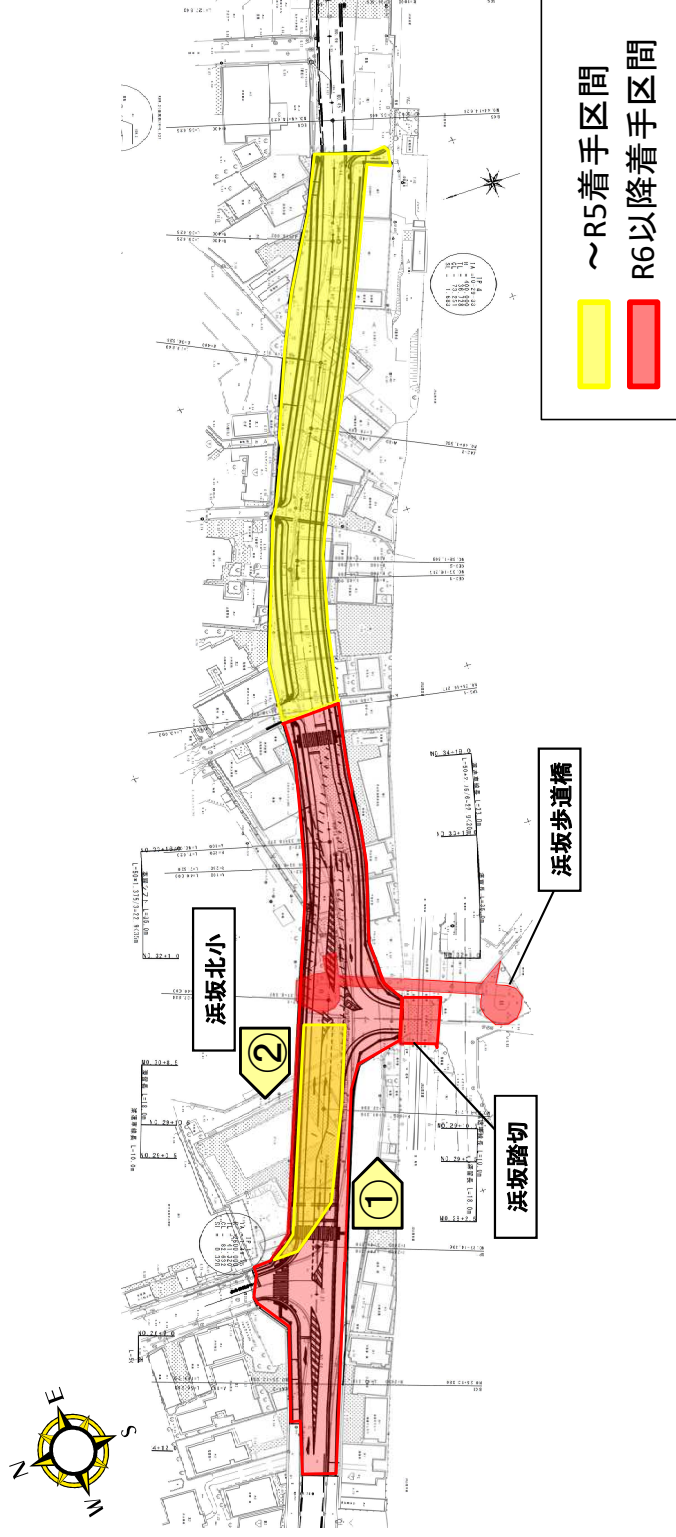
## 現況(踏切交差点部)



# 進捗状況

# 現況写真

## 事業進捗平面図



## 工程表

工種	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
調査・設計								
用地補償								
道路改良工事								

①整備状況(西側)



②整備状況(西側)



: 前回計画  
 : 実施・計画